大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

１　場の提供関係事業（イベント含む）

２３当初予算計　　2,685,079

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	備考
		2,610,279		
「大阪ミュージアム構想」の推進	大阪のまち全体をミュージアムに見立て、御堂筋イルミネーション事業などの大阪のまちの魅力アップを図る事業を展開するとともに、地域の自主的な魅力づくりへの支援やホームページによる魅力発信などにより、元気で笑顔あふれる大阪の実現を目指す。 Ａ．大阪のまちの魅力アップの主要事業 ①御堂筋イルミネーション ②御堂筋ｋａｐｐｏ ③おおさかカンヴァス推進事業＜新規＞ ④石畳と淡い街灯まちづくり事業 ⑤水都にぎわい創出＜新規＞ ⑥大阪ふれあいの水辺づくり＜新規＞ ⑦大阪マラソン＜新規＞ Ｂ．地域の自主的な魅力づくりを支援 ①特別展負担金や市町村補助金を活用して、地域の魅力づくりを支援 ②「大阪ミュージアム交流会」の開催 Ｃ．ホームページによる魅力発信 Ｄ．登録物を活かした新たな魅力づくり ①ネット上で大阪ミュージアムショップの展開 ②地域情報誌で「大阪ミュージアムを巡る」というテーマで連載 ③大手小売業者の協力で大阪ミュージアム展と大阪産（もん）即売会の検討 ④大阪検定と連携し魅力発見ツアーを検討 ⑤大阪ロケーションサービス協議会と連携し登録物をロケ地として推奨	Ａ． ①御堂筋イルミネーション 386,003 （うち、緊急雇用創出基金 2,658） ②御堂筋ｋａｐｐｏ 57,695 ③おおさかカンヴァス推進事業 192,100 （うち、緊急雇用創出基金 153,422） ④石畳と淡い街灯街づくり事業 659,365 ⑤水都にぎわい創出 1,070,000 ⑥大阪ふれあいの水辺づくり 145,000 ⑦大阪マラソン 100,000	Ａ．大阪のまちの魅力アップの主要事業 ①御堂筋イルミネーション ②御堂筋kappo 来場者数 約40万人 ③おおさかカンヴァス推進事業 募集224件、実施23作品 ④石畳事業実施6地区のまちづくりへの支援 ⑤水都にぎわい創出 ・ライトアップ 2箇 所完成 ・護岸修景、遊歩道整備 着手 ・船着場 3箇所 完成 ⑥大阪ふれあいの水辺づくり ・基盤整備 着手	
おおさかカンヴァス推進事業	大阪のまち全体を「カンヴァス」に見立て、アーティストの発表の場として活用することにより、世界中からアーティストの集まる都市をめざし大阪の新たな都市魅力を発信（うち緊急雇用創出基金153,422）	上記	募集224件、実施23作品	
水辺のにぎわい創出事業	水都大阪2009の仕組みとノウハウを継承しながら、府・大阪市・民間が連携し、水辺のにぎわいづくりやまちの活性化に向けた活動を展開（水都賑い創出実行委員会への負担金）	上記	来場者数　約32万人	
御堂筋の魅力創造・発信事業（御堂筋ｋａｐｐｏ、御堂筋オープンフェスタ）	大阪のシンボルである御堂筋を魅力的に演出することで、大阪のまちの魅力を国内外に発信するとともに、一層のにぎわいの創出	上記	来場者数 約40万人(御堂筋kappo)	
府庁本館活用事業	府庁本館を芸術文化活動の場として提供し、文化芸術団体の自主的な事業を促進	116	公演回数　１１回 観客数　1,973人	
フェスパ次世代シアター事業	咲洲庁舎の公開空地（フェスパ）を子どもたちが様々な文化・芸術に親しむ文化活動の場として提供	―	〔23年度新規事業〕	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		74,800		
野外演劇フェスティバル	大阪市内の公園等を舞台に、秋の一定期間に複数の劇団が野外劇・テント劇を開催（広報支援のみ）	300	6劇団・24公演 約2,300人	
大阪クラシック	初秋の１週間、御堂筋・中之島を会場に大阪フィルメンバーによるクラシックのミニコンサートを集中開催する事業	34,500	87公演　50,200人	

大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

ブレーカープロジェクト	現代の芸術と地域をつなぎ、表現者と鑑賞者双方にとって有効な創造の現場を創出することを目的として実施（内、地域創造助成金5,000千円）	10,000	総来場者数　27,198人	
ＩＷＦ・インターナショナルワークショップフェスティバル	市民の鑑賞・体験機会を提供するワークショップの見本市。市民が講師やボランティア運営サポートを努める市民協働事業。	1,000	芸術創造館自主事業　250講座　3236名	
新進芸術家プロモート事業	「咲くやこの花賞」受賞者等の公演、作品発表機会を提供	29,000	13公演、8ワークショップ、3美術展	

２　顕彰関係

23当初予算計　40,491

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		2,186		
芸術文化顕彰事業費	大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片幡桃賞	2,186	・大阪文化賞　表彰１人 ・大阪文化祭賞　表彰７人・団体 ・山片蟠桃賞　表彰１人	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		38,305		
大阪文化賞、大阪文化祭賞	大阪の芸術文化に貢献のあった方や優れた公演を表彰することにより、大阪の文化芸術活動の活性化を図る（実行委員：府市及び21協会）	1,805	文化賞　１　名 文化祭賞等　７　名	
咲くやこの花賞	将来の大阪文化を担うべき人材に「咲くやこの花賞」を贈呈（美術、音楽、演劇・舞踊、大衆芸能、文芸その他の５部門を設定）	3,000	５名（各部門1名ずつに贈呈）	
三好達治賞	三好達治を顕彰し、あわせてその年最も優れた詩集を発表した詩人に贈呈（基金充当）	3,500	三好達治賞　１名	
織田作之助賞	大阪文学振興会、関西大学、毎日新聞とともに、織田作之助を顕彰し、「織田作之助賞」、「織田作之助賞青春賞」「織田作之助賞青春賞佳作」を贈呈。	1,000	織田作之助賞　１名 織田作之助賞青春賞　１名 織田作之助賞青春賞佳作　１名	
新進芸術家プロモート事業	「咲くやこの花賞」受賞者等の公演、作品発表機会を提供	29,000	13公演、8ワークショップ、3美術展	

３　補助関係

23当初予算計　272,929

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		10,246		
芸術文化振興補助金	府内の芸術文化団体が行う次世代育成に資する文化活動に補助し、子どもや青少年が芸術や文化に親しむことによる心豊かな成長や、大阪の文化を担う人材のすそ野の拡大	10,246	実施事業数　16件	
輝け！子どもパフォーマー事業	「メセナ自動販売機」「次世代育成型メセナ自動販売機」からの寄附金を財源として、文化に親しみ、参加、表現する機会を提供する事業のうち、子どもたち自身が参加し発表する事業に対して補助を行い、子どもたちの活発な文化活動を促進	―	８事業実施	

×

大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		262,683		
舞台芸術活動振興事業助成金	大阪市内のホール・劇場で行う公演に対し会場費、印刷費等を助成し、芸術活動の振興及び市民の鑑賞機会拡大を図るもの	19,621	助成件数　98件 助成公演入場者数 63,250人	
舞台鑑賞会（オーケストラ）	主に学生に本格的なクラシック音楽に親しんでもらうため、小学生から25歳迄の学生を1,000円（一般3,000円）とした低価格のコンサート。	10,630	入場者数　2,147人	
舞台鑑賞会(歌舞伎、能、文楽）	第一級の芸術公演に気軽にふれる機会を提供	15,290	歌舞伎　641名、能・狂言498人、文楽デー　1,314人、親子文楽　1,925人	
中高生のための文楽鑑賞教室	国立文楽劇場の初心者向け公演を市立小・中・高校生が、授業の一環として観賞できる機会を提供する	4,200	20校　2,510人	
中学生のための交響楽教室	シンフォニーホールでの大阪フィルのフルオーケストラコンサートに市内中学校を招待し、本格的なクラシック音楽に触れる機会を提供する。	9,572	1,734人	
中高生が参加するコンサート	大阪市内中学校の吹奏楽部学生と大阪フィルが共演するコンサート。	5,605	790人	
大阪城星空コンサート	西の丸庭園を会場に開催する本格的な屋外クラシックコンサート	28,765	約8,000人	
大阪ヨーロッパ映画祭	ヨーロッパ映画の紹介、ゲストとの交流会、子どもを対象としたワークショップ、学生対象の映画塾等。	7,000	入場者数　6,299人	
大阪フィルハーモニー協会	(社)大阪フィルハーモニー協会運営補助金要綱に基づき、同団体の活動支援のため助成するもの	110,000	公演数　111回	
文楽協会	人形浄瑠璃文楽の保存・普及を図る文楽協会の事業費及び管理費を補助	52,000	公演数　433回	

４　音楽系

23当初予算計　　95,437

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		2,600		
音楽指導事業	府内の中学・高校に講師を派遣して行う吹奏楽の合奏指導、管楽器・打楽器の演奏技術講習会	2,600	①派遣音楽指導　42団体 ②ミュージックキャンプ　中止 ③管・打楽器講習会　参加318人	
音楽を活用した感動提供事業【日本センチュリー事業】	・特別支援学校コンサート　…　府内の特別支援学校の生徒を国際障がい者交流センター（ビッグアイ）への招待、支援学校に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート ・病院コンサート　…　入院、通院の患者等に生の音楽を聞く機会を提供するため、病院に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート	—	・特別支援学校コンサート…(センター実施）10 校 児童・生徒９５１名、（訪問実施）4校 ・病院コンサート　…　５病院	
音楽体験事業【日本センチュリー事業】	・タッチ・ジ・オーケストラ　…　子どもがオーケストラの楽団員とともに楽器に触れて音を出したり、オーケストラの中で演奏を聴いたり、指揮をしたりとオーケストラのあらゆる面を体験できる日本センチュリー交響楽団によるコンサート ・星空ファミリーコンサート　…　オーケストラによる演奏に加え、指揮者体験コーナーやクイズなどへの参加ができる親子で気軽に楽しめる日本センチュリー交響楽団による野外コンサート ・特別支援学校コンサート　…　府内の特別支援学校の生徒を国際障がい者交流センター（ビッグアイ）への招待、支援学校に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート	—	・タッチ・ジ・オーケストラ…　20 校 1812 人 ・星空ファミリーコンサート…　約4,000人 ・特別支援学校コンサート…　(センター実施）10 校 児童・生徒９５１名、（訪問実施）4校	

大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		92,837		
中学生のための交響楽教室	シンフォニーホールでの大阪フィルのフルオーケストラコンサートに市内中学校を招待し、本格的なクラシック音楽に触れる機会を提供する。	9,572	1,734人	
青少年芸術体験事業	市内小中学校で、文楽・歌舞伎・ダンス・アート等の鑑賞、体験授業を実施	20,000	24回	
大阪城星空コンサート	西の丸庭園を会場に開催する本格的な屋外クラシックコンサート	28,765	約8,000人	
大阪クラシック	初秋の１週間、御堂筋・中之島を会場に大阪フィルメンバーによるクラシックのミニコンサートを集中開催する事業	34,500	87公演　50,200人	

５　寄付など民間の力を最大限に活かす仕組みづくり

23当初予算計　　10,209

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		10,209		
ＯＳＡＫＡメセナカードの発行	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、大阪府文化振興基金への寄附機能の付いた社会貢献型クレジットカード「ＯＳＡＫＡメセナカード」を発行	○文化振興基金 10,209 ○大阪ミュージアム基金 ○御堂筋イルミネーション基金 ほか	23件	
メセナ自動販売機の設置	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、自動販売機の売上げの一定割合を文化振興基金に寄附いただく「メセナ自動販売機」を設置促進	○文化振興基金 10,209 ○大阪ミュージアム基金 ○御堂筋イルミネーション基金 ほか	8台増	
ふるさと納税制度	個人からの地方公共団体への寄附は、限度内であれば２千円を超える部分については、全額が住民税・所得税から軽減される制度。（限度額内であれば、いくら寄附しても実質自己負担は２千円） ※地方税法の一部が改正され、個人住民税に関しての寄附金額控除の適用下限額が5,000円から2,000円に引き下げ（平成23年6月30日公布）。なお、この措置は、平成23年1月1日以降にした「ふるさと納税」から適用	○文化振興基金 10,209 ○大阪ミュージアム基金 ○御堂筋イルミネーション基金 ほか	－	
文化振興への寄附促進方策の検討	民間から民間への資金の流れを活発にするため、文化振興に関わる公益法人等への寄附税制上での取組みを検討	－	－	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
文化集客基金	【詳細調整中】			

６　その他

大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

(1)人材バンク系

23当初予算計　164,758

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		156,258		
アーティストバンク	地域や学校での取り組みを促進するため、次世代育成に関するプログラムやアーティストの情報を整備し、文化課HP等で広く発信	―	・団体登録―１４３団体 ・個人登録―　８４名 （平成24年2月現在）	
スクールカラーサポートプランの推進	スーパーインストラクター（各界で活躍するアーティストやアスリート等）の活用	2,072	招へいした講師数　合計16名	
学校支援人材バンク	地域や社会などで活躍する優れた技能や専門的な知識を有する人を「学校支援人材バンク」に登録し、指導者として学校教育に広く参画いただくなど活用	154,186	登録者数　4885人	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		8,500		
見巧者【廃止】	大阪の若手芸術家等のプロフィール等を収集・発信するウエブサイト	8,500	登録者累計　1,155件 アクセス数　449,717件	

(2)福祉・自立支援系

23当初予算計　24,805

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		24,805		
アートを活かした障がい者の就労支援事業	障がい者が創作した創造性豊かな、芸術性に溢れる作品を「現代アート」として評価し、これをマーケットに繋げていくことにより、アーティストとしての自立に向けたチャレンジを支援	4,000	巡回展の開催（平成23年3月8日～3月13日）	
障がい者芸術・文化促進事業	障がい者の社会参加を促進し、府民の障がい者への理解を深めるため、国際障害者交流センター（ビッグアイ）の活用により様々な芸術・文化活動の機会を提供	20,805	体験型講座（3コース）・発表会（4回）等の実施	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		0		
	【対応する大阪市事業は無い】			

(3) 生涯学習系

23当初予算計　670

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		20		

大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

大阪文化再発見事業	共催講座、新なにわ塾、おおさかふみんネット、阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット	20	・主催講座 12コマ開催、727人受講 ・共催講座 10コマ開催、1242人受講 ・HSNネット公開講座フェスタ 30コマ開催、2299人受講 ・HSNネット大学共催講座 61コマ開催、5910人受講	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		650		
文学振興事業	大阪ゆかりの文学作品の背景となる名所・旧跡を探訪する「文学散歩」、大阪ゆかりの作家による「文学講演会」を開催。	650	文学散歩 5回 410名	

(4) その他

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
		64,516		
江之子島アートセンター（仮称）構想 〔名称：江之子島文化芸術創造センター〕	現代美術センター所蔵作品の活用のほか、アーティスト、住民、企業、大学、NPO等の交流機会を提供。24年4月オープン予定。 ※　現代美術センターの運営、所蔵作品の収蔵・活用、並びに江之子島への移転・準備経費	64,516 ※	アートセンター構想検討会3回開催	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	
		28,500		
創造活動支援事業【廃止】 (中之島4117)	相談業務と情報提供事業を実施し、芸術家や芸術系NPOの支援育成を行うとともに、蓄積されたネットワークや、公募による新たな人材と協働し、芸術文化活動を支える人材育成を実施	20,000	訪問者数　2,078人 相談件数　67　件	
見巧者【廃止】	大阪の若手芸術家等のプロフィール等を収集・発信するウエブサイト	8,500	登録者累計　1,155件 アクセス数　449,717件	

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
文化振興会議	文化振興条例に基づく諮問機関。委員12名（任期23年8月～25年8月） 現行計画（22年度～24年度）の後継計画を24年2月の次回会議で諮問予定。 23年度からは「文化行政にふさわしいPDCAサイクル」構築のため、委員による現地視察の導入など事業評価の取り組みを強化。	157	開催1回 （検証・評価システムの構築）	

×

カップリング先事業名等	概　　要	23当初予算	２２実績	

事業名	概　　要	23当初予算	２２実績	
大阪楽座事業	歴史的建造物を活用した文化活動を支援することにより、活動の場の拡大とまちの賑わいづくり、歴史的建造物保存の意識を醸成	―	実施事業数　16件	

大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録推進事業	百舌鳥・古市古墳群を世界の宝として確実に未来に継承し守っていくため、世界文化遺産登録に向けた取り組みを進め、府民が大阪の歴史を再認識するきっかけとし、誇りの持てる大阪づくりに寄与	12,823	府市合同会議2回開催 有識者会議1回、専門部会2回開催 暫定一覧表記載記念講演会（500名参加）・シンポジウム（東京会場：350名参加）開催（共催）	
【インターネット美術館推進事業：生涯学習施策集より】	大阪府所蔵美術作品のデータベースを基に作成した、作品・作家等の情報をインターネットを通じて検索･閲覧できるインターネット美術館を運営する。＜18年度から21年度まで指定管理者制度を導入＞(府民文化部)	52,473 (府立現代美術センターの運営)の一部		
上方演芸資料館運営費	上方演芸に関する資料の保存・収集及び資料展示や演芸番組等の視聴サービスなどを通じて府民に上方演芸に親しむ場を提供	100,000	展示室入館者数28,750人 総入館者数94,761人 ※開館４～12月（９か月間）	
観光振興の推進	国内外からの集客を図るため、近隣府県等と連携した観光プロモーション、都市魅力の発信、受入環境の整備、国際会議の誘致等	78,985	観光プロモーションや多言語ホームページによる情報発信等の取り組みを進め、内外からの集客を促進	
なにわの伝統野菜の振興	古くから大阪の食文化を支えてきた「なにわの伝統野菜」の発掘と復活に取り組む。また、平成17年10月に創設した「なにわの伝統野菜認証制度」を活用し、「なにわの伝統野菜」の生産振興と消費拡大	—	認証件数（生産7件、加工2件）	
「大阪人権博物館」「アジア・太平洋人権情報センター」「大阪国際平和センター」における資料収集と情報発信	○大阪人権博物館の運営事業等に補助を行い、人権に関する歴史資料を収集保存、公開し、人権思想 の普及と、豊かな人権感覚を育む「人間教育」の推進、人間性豊かな文化の発展に貢献 ○国際化時代に対応した府民の人権意識の高揚と、アジア・太平洋地域への多面的な交流の一環として、国際人権情報交流拠点となるアジア･太平洋人権情報センターと連携し、人権尊重の社会づくりを推進 ○戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行う大阪国際平和センターに補助を行い、府民の平和意識の醸成を図る。また、展示リニューアル計画策定に対して補助	大阪人権博物館 71,585 アジア・太平洋人権情報センター — 大阪国際平和センター 50,710	学校de博物館事業 利用者数5,380人（H23年2月現在） 博物館利用者数59,146 人（H23年2月現在）	
文楽伝承事業	大阪が世界に誇る伝統芸能である「人形浄瑠璃文楽」の保存継承事業を行う(財)文楽協会に補助を行い、技芸の伝承とともに鑑賞機会の充実等	20,702	国立文楽劇場　文楽有料観客数 92,338人 文楽技芸員数　８０人	
◇　内外から多くの人を集客するエンターテイメントや世界トップレベルの競技、複合コンベンションなどの大規模集客施　設による大阪・関西のにぎわいづくりを進めるなど、多様な民間投資を呼び込む。 （日本万国博覧会記念公園、大阪駅北地区、大阪ベイエリア、近鉄花園ラグビー場など）			・万博記念公園南側ゾーン活性化事業の事業者公募の実施 ・カジノを含めた統合型リゾート(IR)立地のための検討会の設置・会議の開催・IRに関する基本的な考え方を公表 ・国が検討している「総合特区制度」に関するアイデア提案募集において、「国際集客エンターテイメント特区」を提案（H22.9）	
地域力再生支援事業	小学校に学校支援地域本部をはじめとする地域住民の交流・活動拠点を整備するとともに、この拠点を活用し、小学校区単位で防犯、防災、高齢者等の見守りなど住民主体の取組みが本格的に広がっていくよう支援	59,200	・要援護者を対象とした地域災害支援マップの作成（13小学校区） ・医療情報キットの作成・普及　（１８小学校区）	
トップアスリート小学校ふれあい事業	府内小学校にプロ・アマのトップスポーツ選手を派遣し、児童と対話や技術指導を行うことで、スポーツに親しむ態度や習慣を身につけさせ、夢や希望を与える。	375	申し込み290校、派遣決定67校 参加児童数延べ　9,964名	
大型児童館ビッグバン事業	「遊び」をテーマに、子どもの豊かな遊びと文化創造の中核拠点として、「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもの健やかな成長を支える人材の育成機能」を担う。	25,830	・館全体のテーマに基づいた全館事業 ・子どもの夢や創造性を育む工房事業 ・子どもたちの感性を豊かに育むための各種公演	
「あすなろ夢建築」大阪府公共建築設計コンクール	将来の技術者の育成に寄与するとともに、永く府民に愛され親しまれる公共建築づくりを進めていくことを目的とし、小規模な公共建築物を題材に府内の高校生や専修学校生等からアイデアを募集し、最優秀作品の提案を活かして事業化	59	応募登録数 329組 応募作品数 254点 入賞作品（最優秀作品賞１点、優秀作品賞３点、佳作３点、奨励賞２点）	

大阪府・大阪市の文化関連事業融合・統合検討シート

芸術系の専門学科高等学校の運営（港南造形高校、夕陽丘高校、東住吉高校）	・港南造形高校 … 美術、造形、工芸、デザイン等に関する幅広い技術等 ・夕陽丘高校　… 音楽に関する専門的知識と技術等 ・東住吉高校　… 能、狂言、歌舞伎、文楽等我が国の伝統芸能の基礎に関することや、落語や漫才等を中心とた笑い及びエンターテイメント等 (※ 専門学科・総合学科を設置する学校を支援する予算)	6,396 ※		
出かける博物館事業（府立弥生文化博物館、府立近つ飛鳥博物館）	考古資料などをとおして弥生～古墳時代を初めとした歴史への関心と学習意欲を高めるための各種学習支援プログラムを用意し、小・中・高校への出前授業をおこなう他、さまざまな施設や団体と協働でワークショップや講演会を行い、大阪の歴史と文化を身近に体感	弥生文化博物館 131,687 近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘 142,269	出前授業132回、課外活動との連携20件、資料貸出7件 出張講演会46回、館外ワークショップ32回	
学校de博物館事業（大阪人権博物館（リバティおおさか））	学芸員が小・中・高校で博物館資料を活用した出前授業をおこない、児童・生徒の豊かな情操や人間性、夢や理想の実現に向かって生きる力、志を持って自立していくために必要な能力、よりよい社会を創っていく態度等の育成に寄与	大阪人権博物館 71,585	学校de博物館事業 　利用者数5,380人（H23年2月現在） 　博物館利用者数59,146人（H23年2月現在）	
日本民家集落博物館「昔の暮らし展示体験事業」	移築復元した江戸時代民家においてボランティアが中心となって、小学生を対象に祖父母の時代の季節ごとの暮らしや遊びの語り聞かせ、体験活動を実施	日本民家集落博物館 8,511	昔の暮らし展示体験事業 （１月１４日～２月２７日） 利用児童数 16校 1329名 期間内入場者数 4146人	
オーケストラハウス管理費	豊中のオーケストラハウス（日本センチュリー交響楽団に賃貸し）の修繕費等	1,022	23年度より予算措置 自立化に向けた取組み期間であるＨ２２年度においては、オケハウスを旧財団法人大阪府文化振興財団へ無償貸付	
日本センチュリー交響楽団のフォロー	23年4月をもって内閣府所管の公益財団法人に移行。府から自立化。以後助成金ゼロ、役員派遣なし。社会貢献活動や府民向けコンサートを行うことを条件に旧基本財産20億の活用を認める。スポンサー獲得等に協力。	―	自立化に向けた取組み期間であるＨ２２年度においては、旧財団法人大阪府文化振興財団へ1.1億円を運営補助 公演数計119回〔（フルオケ）91回（アンサンブル）28回〕	